

学校関係者評価報告書

(令和2年度)

令和3年5月

学校法人伊藤学園
専門学校甲府医療秘書学院

専門学校甲府医療秘書学院 学校関係者評価委員会

委員	長	今井立史	(山梨県医師会会長)
委員		島田和哉	(日本耳鼻咽喉科学会 山梨県地方部会副会長)
委員		太田道夫	(山梨県医師会会員)
委員		佐藤健司	(山梨県医師会会員)
委員		七沢久子	(山梨県歯科医師会会員)
事務局		篠原豊明	(学校長)
事務局		伊藤祐寛	(伊藤学園理事長) (山梨県専修学校各種学校協会会長)
事務局		藤森正貴	(伊藤学園法人事務局長)
事務局		矢野泰宏	(教頭)
事務局		高橋純一	(教務主任)

1 教育目標と教育目標に対する評価・意見

「自主性と研究心に富み、優しく思いやりのある礼儀正しい医療秘書の育成」
 「情報の高度化にともなう情報処理、事務処理などの技能を身につけた医療秘書の育成」

- ・おおむね学校目標に則って学校運営がされており、評価基準においても適切に評価されていると思われます。
- ・学校の自己評価については、適正な評価だと思います。
- ・学校の基本方針、学校運営の取り組みなど適切に行われていると思います。
- ・社会や業界が求める人材やスキルへの対応のため、業界の情報収集や意見交換などを積極的に行ってほしいと思います。
- ・卒業生を雇用していますが、教育理念が浸透していると評価しています。

2 学校自己評価報告書について

学校自己評価報告書基準	学校自己評価報告書についての評価点の平均		
	自己評価の結果が適切か	改善に向けた結果が適切か	今後の改善方針が適切か
	4…適切な評価である	4…十分適切な取組みである	4…十分な効果が期待できる
	3…ほぼ適切な評価である	3…ほぼ適切な取組みである	3…ほぼ十分な効果が期待できる
	2…やや不適切な評価である	2…あまり適切とはいえない取組みである	2…あまり効果が期待できない
	1…不適切な評価である	1…適切とはいえない取組み	1…効果は期待できず、改善を要する
教育理念・目標	3.8	3.8	3.7
学校運営	3.8	3.8	3.7
教育活動	3.8	3.8	3.8
教育成果	3.8	3.8	3.8
学生指導・学生支援	3.8	3.8	3.7
教育環境	3.6	3.6	3.8
学生募集	3.4	3.4	3.6
財務	3.6	3.6	3.6
法令等の遵守	3.8	3.8	3.8
地域貢献・社会貢献	3.5	3.5	3.5

3 今後の改善意見

- ・コロナ禍の状況におかれましても感染対策を講じながら、年間の行事が終了できたことは大変良かったと思います。引き続き感染防止対策を講じながら、学校行事等を含めて無事に進めていけますことを願っております。
- ・退学者の低減を図ることは大切な点だと思います。
- ・設備の充実はたいへん良いと思います。
- ・学生募集に関しまして、十分な対応をされておりますが、少子化の傾向は続いておりますので、学校運営にとって学生数の確保は重要な取り組み課題であります。
- ・資格取得率、就職率の向上、離職率の低減の取り組みが生徒の満足度につながり、生徒募集、学校運営にとっても重要であると考えます。
- ・系列高校からの入学者を増やすための方策を考えたらよいと思います。
- ・ボランティア活動に対する支援が弱い印象を覚えます。

4 今後の具体的な改善方策

- ・感染防止対策として、日々の健康調査、水と石けんによる手洗いの徹底、入口及び施設内の手指の消毒設備の設置、マスクの着用（教職員、学生等及び入場者に対する周知）、施設の換気（空気清浄機の適切な運転、2つの窓を同時に開けるなど）、施設の消毒、症状（発熱や風邪症状等）のある方の入場制限（検温の積極的実施、体調不良時の出勤・登校回避、個人情報取扱に十分注意しながら入場者等の名簿を適正に管理）を行う。
- ・従来のホームルーム担任による面談のほか、保護者との連絡を強化する。
- ・施設の経年劣化への対策に加えて、施設設備の充実に向けて計画を行う。
- ・高校生はもちろん高等学校教員にも診療情報管理士、医療情報技師、ソーシャルワーカーについて理解してもらうために、進学説明会、講演会に積極的に参加する。また、高校訪問体制、内容を強化する。
- ・競合校との教育内容や学生支援・卒業生支援体制の違いを鮮明にし、募集活動を行う。
- ・入学対象者や保護者に本校をより理解していただくため、学校見学会に在校生・卒業生を参加させ、リアルな学校生活を紹介するとともに、SNS、学校ホームページなどを活用し、タイムリーに学校情報を発信していく。
- ・卒業生の就職先に対するアンケートを活用し、業界ニーズと期待される教育内容を把握し、カリキュラムの改善や受験する検定の選定を行う。
- ・教員のスキルアップを図るため、検定主催団体等の実施する研修会・講習会に積極的に参加する。
- ・山梨県医師会、山梨県歯科医師会に協力を求め、広報・学生募集活動、就職活動の強化を行う。
- ・系列校との連携を強化し、体験授業や生徒向け説明会に加え、保護者向け説明会などを企画し、高校生、保護者との接触の機会を増やす。
- ・ボランティアは、地域貢献活動へのアプローチにもなるため、課外活動（クラブ活動）の創設や支援策を検討する。